login: fajifuji

以下の 5 問中、3 問を選択し、問題番号明記の上、回答せよ。部分点なし。時間は 30 分。 回答した 3 問中、2 問正解で再試験 合格。 合格者は 2023 年の情報処理応用の履修届けを出しなさい。授業には来なくてよい。 60 点で成績報告する。 不合格者は 2023 年以降の情報処理応用を履修すること。

- 1. 数 x, y を引数にとり、それらを足した数を戻り値とする関数 add2(x, y).
- 2. 整数 x を引数にとり、それが偶数であれば True、奇数だったら False を返す関数 is_even(x).
- 3. n + (n+1) + (n+2) + ... + m を求める関数 sum_int(n, m).
- 4. リスト xs の各要素を n 倍したリストを返す関数 times_n(xs, n).
- 5. 整数リスト xs に含まれる偶数だけを抜き出す evens_only(xs).

def sum int (n, m) =

a=[]

for [. [n range(n, mtl) =

a.append(i) return sum(a)

def evens_only (xs)

yeturn [xs[::2]

def add2(X,y)=()
return (X+X)

2 def (5_even(x);

if x %2 == 0=

refurn. True

else ?

return Fals

(vs,n):

4. det times-n(x9,n):

a=[]
for i in x5
aappend (x*n)

return à

login:

arry 2620

以下の 5 問中、3 問を選択し、問題番号明記の上、回答せよ。部分点なし。時間は 30 分。 回答した 3 問中、2 問正解で再試験 合格。 合格者は 2023 年の情報処理応用の履修届けを出しなさい。授業には来なくてよい。 60 点で成績報告する。 不合格者は 2023 年以降の情報処理応用を履修すること。

h-1. m

- 1) 数 x, y を引数にとり、それらを足した数を戻り値とする関数 add2(x, y).
- 2.整数 x を引数にとり、それが偶数であれば True、奇数だったら False を返す関数 is_even(x).
- 3. n + (n+1) + (n+2) + ... + m を求める関数 sum_int(n, m).
- 4. リスト xs の各要素を n 倍したリストを返す関数 times_n(xs, n).
- 5. 整数リスト xs に含まれる偶数だけを抜き出す evens_only(xs).

2 def is_elen(x):
return
$$1\%2 = 0$$

5 Set evens_only(xs):

$$rt = (x s \% 2 = 0)$$

$$return filter (even_only, rt)$$

if x1,2=0 True
veture True
else veture Fals

login: umbfeen

以下の 5 間中、3 間を選択し、問題番号明記の上、回答せよ。部分点なし。時間は 30 分。 回答した 3 間中、2 間正解で再試験 合格。 合格者は 2023 年の情報処理応用の履修届けを出しなさい。授業には来なくてよい。 60 点で成績報告する。 不合格者は 2023 年以降の情報処理応用を履修すること。

- 1. 数 x, y を引数にとり、それらを足した数を戻り値とする関数 add2(x, y).
- 2. 整数 x を引数にとり、それが偶数であれば True、奇数だったら False を返す関数 is_even(x).
- 3. n + (n+1) + (n+2) + ... + m を求める関数 sum_int(n, m).
- 4. リスト xs の各要素を n 倍したリストを返す関数 times_n(xs, n).
- 5. 整数リスト xs に含まれる偶数だけを抜き出す evens_only(xs).

login: shin) i/6

以下の5問中、3問を選択し、問題番号明記の上、回答せよ。部分点なし。時間は30分。回答した3問中、2問正解で再試験合格。合格者は2023年の情報処理応用の履修届けを出しなさい。授業には来なくてよい。60点で成績報告する。不合格者は2023年以降の情報処理応用を履修すること。

- 1. 数 x, y を引数にとり、それらを足した数を戻り値とする関数 add2(x, y).
- 2. 整数 x を引数にとり、それが偶数であれば True、奇数だったら False を返す関数 is_even(x).
- 3. n + (n+1) + (n+2) + ... + m を求める関数 sum_int(n, m).
- 4. リスト xs の各要素を n 倍したリストを返す関数 times_n(xs, n).
- 5. 整数リスト xs に含まれる偶数だけを抜き出す evens_only(xs).

1. def add2 (7.3): return x 12

2. def is-evental,
if x% = 0:
return True
return False

5, def quens_only (xs):

fa=[]
for i in xs:
if i%==0:
a.append(i)
return A

login: Yogurt

以下の5 間中、3 間を選択し、問題番号明記の上、回答せよ。部分点なし。時間は30 分。 回答した3 間中、2 間正解で再試験 合格。合格者は2023 年の情報処理応用の履修届けを出しなさい。授業には来なくてよい。60 点で成績報告する。 不合格者は 2023 年以降の情報処理応用を履修すること。

- 1) 数 x, y を引数にとり、それらを足した数を戻り値とする関数 add2(x, y).
- 2.整数 x を引数にとり、それが偶数であれば True、奇数だったら False を返す関数 is_even(x).
- 3.n + (n+1) + (n+2) + ... + m を求める関数 sum_int(n, m).
- 4. リスト xs の各要素を n 倍したリストを返す関数 times_n(xs, n).
- 5. 整数リスト xs に含まれる偶数だけを抜き出す evens_only(xs).

3. def sum_int(n,m):

return
$$(n+m)^*(m-n+1)/2$$

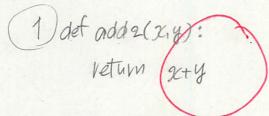
login: havapeto

以下の 5 問中、3 問を選択し、問題番号明記の上、回答せよ。部分点なし。時間は 30 分。 回答した 3 問中、2 問正解で再試験 合格。 合格者は 2023 年の情報処理応用の履修届けを出しなさい。授業には来なくてよい。 60 点で成績報告する。 不合格者は 2023 年以降の情報処理応用を履修すること。

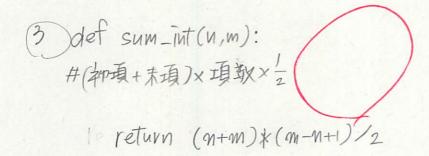
- 1. 数 x, y を引数にとり、それらを足した数を戻り値とする関数 add2(x, y).
- 2. 整数 x を引数にとり、それが偶数であれば True、奇数だったら False を返す関数 is_even(x).
- 3. n + (n+1) + (n+2) + ... + m を求める関数 sum_int(n, m).

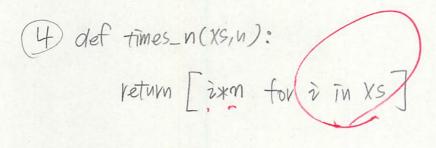
02345 (1+5)×

- 4. リスト xs の各要素を n 倍したリストを返す関数 times_n(xs, n).
 - 5. 整数リスト xs に含まれる偶数だけを抜き出す evens_only(xs).



2 def is_even(x): # 2世割元东/pr OTEITED Twe, 知以外12 False Veturn x%2==0





6

for in xs:

if i%2=0:

ys=[]

for in xs:

if i%2=0:

ys.append(i)

return ys

login: muserus3

以下の 5 問中、3 間を選択し、問題番号明記の上、回答せよ。部分点なし。時間は 30 分。 回答した 3 問中、2 問正解で再試験 合格。 合格者は 2023 年の情報処理応用の履修届けを出しなさい。授業には来なくてよい。 60 点で成績報告する。 不合格者は 2023 年以降の情報処理応用を履修すること。

- 1. 数 x, y を引数にとり、それらを足した数を戻り値とする関数 add2(x, y).
- 2. 整数 x を引数にとり、それが偶数であれば True、奇数だったら False を返す関数 is_even(x).
- 3. n + (n+1) + (n+2) + ... + m を求める関数 sum_int(n, m).
- 4. リスト xs の各要素を n 倍したリストを返す関数 times_n(xs, n).
- 5. 整数リスト xs に含まれる偶数だけを抜き出す evens_only(xs).

1. def add2 (x,y):
return x(y)

2. def 75. even(x): return x%2==0

5. def evens only (2s):

Hef=[]

for i in 2s!

if i%2==0:

ret. append(i)

return ref

def evens only (203) red = ()

123 8156

2 (n+m). (m-n+1)

login: bindume

以下の5間中、3間を選択し、問題番号明記の上、回答せよ。部分点なし。時間は30分。回答した3間中、2間正解で再試験 合格。合格者は2023年の情報処理応用の履修届けを出しなさい。授業には来なくてよい。60点で成績報告する。不合格者は 2023年以降の情報処理応用を履修すること。

- 1. 数 x, y を引数にとり、それらを足した数を戻り値とする関数 add2(x, y).
- 2. 整数 x を引数にとり、それが偶数であれば True、奇数だったら False を返す関数 is_even(x).
- 3. n + (n+1) + (n+2) + ... + m を求める関数 sum_int(n, m).
- 4. リスト xs の各要素を n 倍したリストを返す関数 times_n(xs, n).
- 5. 整数リスト xs に含まれる偶数だけを抜き出す evens_only(xs).

1.
$$def add 2(x, y)$$
:
return $x + y$

2.
$$def$$
 is $even(x)$:

return $x \% 2 = = 0$

3. det sum_int (n, m):

